

ポツポとテニスボール

洋一がウターンして来たとき連れてきた小犬は、いろいろなエピソードを作った犬だった。

朝・晩の散歩には雨が降らなければ、必ず連れて行つた。小雨の時は傘をさしても出掛けた。私一人の時が多かったが、夫婦して出掛けたこともある。小さい頃はヨチヨチ歩きだから、あまり遠くには行かず、十分位で帰ってきた。だんだん大きくなるに従い、時間と距離を延ばした。

宮城球場の前に来ると、草野球ナイターであの辺は昼のように明るくなっているときがある。入り口は開いていて、誰でも自由に観戦出来る。ポツポが大きくなつてからだが、球場入り口前の植木に結わえ、ナイター見物に入つたこともあつた。

無料観戦する人は余り多くない。球場内をユツクリ一周して帰るのだが、西側に来ると土手の下にテニスボールが、多い時には十個位、普通でも二・三個は必ず落ちてゐる。球場の周りは垂直なコンクリートの高い壁だ。少し離れた所にはテニスコートがあり、毎日のように試合や練習をやっている。

その何人かは球場のコンクリートに向かつて、テニスの壁打ちの練習をする。日中暇な時其処を通つて見ると、一人でやるには都合が良いようだ。壁に当たつて跳ね返つてくる玉を打つ。何十回となく繰り返す。間違つて打

ったテニスボールが、コンクリートの上に張った金網を越え、球場内に入る事がある。

金網の上にはバラ線が張っており、侵入することは難しい。殆どの人は諦める。なかにはトイレの角からよじ登り侵入し、ボールを拾う強者も居る。

草野球ナイターの時に行つてボールを拾っていたが、たまに日中に行つて拾つたこともある。テニスの試合の時など、コート脇の屑籠に試合で使つたテニスボールが多く捨ててあるのを拾う。中には真新しい物も混じている。

こんな事をして面白半分にしたボールは、二、三百個あつたと思う。二年間位で飽きてやめたが、これもポツポのエピソードの一つである。拾つたボールは好きな人に、あげたり、捨てたりして、二・三年で全部無くなつた。

あれから二十年近くになるが、この前の日中、草野球見物に行った。ゲートから誰でも入れる。見物人は十人位、グルツと一回りして、テニスコート方面に来たら、トイレの屋根の上に、あるわ、あるわ、テニスボールが二十個ばかり、屋根には到底上がれない、土手に五個ほど落ちていた。程度のよいボールを三個拾つて来た。

洋一が東京から連れて来て、エピソードを多くつくつてくれたポツポを思い出し、感慨に耽る。